（裏面）

⑩処分を行うための施設の処理能力	㎥／日（　）時間 t／日（　）時間 ㎥／時間 t／時間 面積　㎡ 埋立容量　㎥
⑪処分を行うための施設の処理方式並びに構造及び設備の概要	
⑫排ガスの処理方法	
⑬排水の処理方法	
⑭放流水の水質	
⑮放流水の水量	㎥／日
⑯放流水の放流方法及び放流先の概況	
⑰輸出予定年月日（輸出の一括確認にあっては、輸出の開始予定年月日及び輸出を行う期間）	

備考
1　※の欄は記入しないこと。
2　⑧処分を行うための施設の種類については、脱水施設、焼却施設、中和施設、最終処分場等の別を記入すること。
3　⑫排ガスの処理方法、⑬排水の処理方法については、その概要を記入するとともに、別紙に処理系統図を示すこと。
4　⑭放流水の水質は、最終処分場の場合は、排水基準を定める省令第１条に規定する排水基準の項目及びダイオキシン類について放流水の予定水質を記入すること。
5　⑯放流先の概況については、放流先の種類（河川、湖沼等）及び放流先との関係等を記入すること。
6　運搬を行う者や運搬施設が複数ある場合にあっては、④～⑥欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。
7　処分を行う者や処分を行うための施設が複数ある場合にあっては、⑦～⑯欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。

※手数料欄

様式第三十二号から様式第三十五号までを削り、様式第三十一号を次のように改める。

様式第三十二号（第十二条の十二の二十六関係）

産業廃棄物輸出報告書

年　月　日

環境大臣　殿

報告者
住　所
氏　名
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第12条の12の26第１項の規定に基づき、　年　月　日付けで確認を受けた産業廃棄物の輸出に関し、関係書類を添えて報告します。

①確認の年月日及び確認番号	年　月　日 確認番号	
②産業廃棄物を生じた事業場の名称及び所在地		
③産業廃棄物の種類（当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。）及び性状		
④輸出した数量（当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物が含まれる場合はその数量を含む。）	⑤輸出した年月日	⑥処分が終了した年月日
合計		

備考
1　この報告書は、輸出の一括確認を受けた者にあっては、個別の輸出ごとに当該輸出に係る産業廃棄物の処分が終了するたびに遅滞なく提出すること。
2　輸出の一括確認を受けた者にあっては、④～⑥欄は前回提出した報告書における記載に今回の輸出に係る情報を追加するようにすること。

（日本工業規格　A列４番）